



地域と学校の架け橋

～きずな～

学校通信 第390号 令和8年3月24日
発行 北海道阿寒高等学校
〒085-0213 釧路市阿寒町仲町2丁目7番1号
TEL: (0154) 66-3333 FAX 66-3303
U R L : <http://www.akan.hokkaido-c.ed.jp>
「絆」はホームページでもご覧いただけます

「避粉地」のみならず「避霧地」?

北海道阿寒高等学校長 吉田 光 利

北海道、特に道東はスギやヒノキが自生しておらず、最近釧路は「花粉ゼロの街」として注目されています。「避粉地」と検索すると、離島や沖縄、そして標高の高い山間部にある草津温泉などが、花粉から逃れられる場所としてヒットしますが、北海道の中でも唯一「釧路」が具体的な都市名として紹介されています。釧路市は元々避暑地として長期滞在者の集客に力を入れてきましたが、どうしてもシーズンが夏から初秋に限られてしまうこともあり、さらなる魅力として冬の雪の少なさ、そして春の避粉地(厳密には白樺花粉が少なからずある)を売りに、年間を通じた地域の活性化を図っているようです。

さて、今年度本校は創立75周年ということで、生徒と教職員は勿論、同窓会や地域の方々とも一体となり大成功を収めることができました。改めてお礼申し上げます。周年事業のひとつである懐古展では、布伏内にある古潭・雄別歴史資料室主宰の三沢悟氏(15期生)の全面的なご協力により、本校だけでなく雄別炭鉱の歴史をも含めた選りすぐりの資料を展示することができ、全国各地から集まった同窓生や関係者の皆様に大変好評でした。特別講演では、ご存じ「刃牙」の板垣恵介氏(24期生)から後輩達に、とって心こもった珠玉のメッセージをいただくことができました。

これを通して、生徒だけでなく参加された方達一人一人が、母校や地域に対する誇りを改めて感じることであり、それが自己への誇りに繋がっていったのではないのでしょうか。そして、地元が生んだこのような素晴らしい「人」という財産も、その町の魅力化・活性化に不可欠であり、まだまだ大きな力となる可能性を秘めていると感じています。

新聞やセンター通信「あかん」でも紹介していただきましたが、今年度の見学旅行で2年生が京都駅前において、地元阿寒のPR活動を実施しました。これは本校として初めての試みで、総合的な探究の時間で「AKAN NAKA プロジェクト」として地元について学び、「食」「自然」「体験」の3つのテーマに分かれて街行く人に声をかけてアンケートやクイズを実施しました。PRグッズとして地元企業や行政機関等に提供していただいた、鹿の角をカットしたペンダント、パンフレットやポストカード、街の紹介動画などはとても好評でした。生徒にとっても地元を見直し未来を考える貴重な機会となりました。

「釧路市の人口が…」とか「メガソーラーが…」などという、気持ちが暗くなる話題が目立ちますが、ただ住んでいると当たり前で気づいていない隠れた魅力がこの地域にはまだまだあります。釧路市の中でもこの阿寒本町地区は「避粉地」だけでなく、私は勝手に「避霧地」であると自慢しています。釧路の夏は涼しいけれど「霧があるからね～」とよく言われますが、あの憂鬱な海霧はここまで来ません。もっとこの地域の魅力が多くの人に伝わり、移住者も増え、阿寒高校が永遠に続くことを願うだけです。

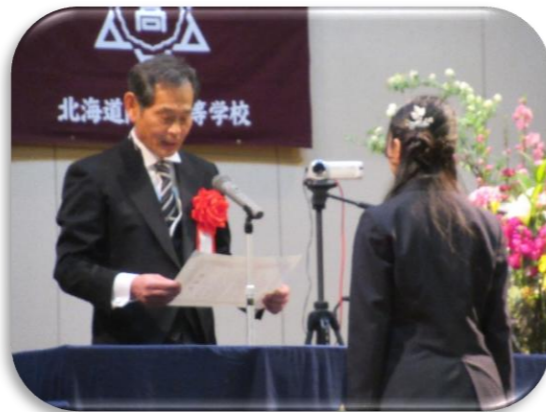
最後になりましたが、今年度の修了にあたり、これからもますます皆様方から愛される学校づくりを推進するとともに、関係する全ての皆様方の今後とも変わらぬご支援ご協力をお願いし、令和7年度を締めくくると致します。ありがとうございました。

卒業式を終えて

第3学年担任 橋本 修佑

3月1日(日)、春の暖かさを感じる爽やかな晴天のもと、第74回北海道阿寒高等学校卒業証書授与式を挙行し、20名の生徒が本校を巣立っていきました。保護者の皆様をはじめ、本校の教育活動を支えてくださった多くの関係者の皆様のお力添えにより、無事この日を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

3年前の入学式では、まだ幼さの残る表情を見せていた生徒たちでしたが、多くの仲間や教員と出会い、日々の授業や学校行事など様々な経験を重ねる中で、頼もしい姿へと成長しました。進む道はそれぞれ異なりますが、阿寒高校で過ごした3年間に誇りと感謝の気持ちを持ち、明るい未来へ大きく羽ばたいてくれることを願っています。



離任する教職員の挨拶

教頭 元島 和明

阿寒高校 勤務年数：3年
赴任先：北海道釧路北陽高等学校

今から3年前、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を控え、マスクどうする?といったことが話題になっている時期でした。このような中でスタートした私の阿寒高校生活は、75周年事業の成功に向けた3年間でもあったように思います。同窓生をはじめ、たくさんの方々の思いが形となり表現できた式典は、貴重な思い出のひとつとなりました。

そして何よりも、生徒の皆さんが、日々逞しく成長していく様子を見るにつけ、阿寒高校の良さを再発見でき、微力ながら阿寒高校に関わられたことに変感謝しております。本当にお世話になりました。

事務長 佐藤 誠

阿寒高校 勤務年数：2年
赴任先：北海道大麻高等学校

2年間という短い期間の中、創立75周年記念事業に立ち会うことができ、貴重な体験となりました。この学校で学んだことを生かし、また新しい学校で生徒のために頑張りたいと思います。2年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

令和7年度進路決定状況

- 大学・短期大学・専門学校
 - ・釧路公立大学(経済学部)
 - ・札幌大学(地域共創学群・英語専攻)
 - ・釧路市立高等看護学院(看護科)
 - ・くしろせんもん学校(こども環境科)
 - ・札幌マンガ・アニメ&声優専門学校(マンガデザイン学科)
 - ・札幌ベルエポック美容専門学校(トータルビューティー科)
- 民間企業
 - ・東北北海道日野自動車株式会社
 - ・雪印メグミルク株式会社
 - ・株式会社ベストサポート
 - ・田家木材株式会社阿寒工場
 - ・佐川急便株式会社
 - ・生活協同組合コープさっぽろ
 - ・一般社団法人プリウス釧路
 - ・イオン北海道株式会社
 - ・株式会社セノン北海道支社釧路出張所
 - ・宗教法人厳島神社
- 公務員
 - ・陸上自衛隊

3月、4月の主な行事予定

3月25日 春休み(～4月7日)
4月 8日 始業式、入学式

今年度も吉田新聞店様のご厚意で『絆』を阿寒地域のご家庭にお届けすることができました。ご協力に心より感謝申し上げます。



阿寒高校ではホームページに加え YouTube、Instagram での発信も行っています。以下の QR を読み取り、ぜひご覧ください!

YouTube



Instagram

